

2018.3

春

広島県 医療勤務環境改善支援センター



News Letter

勤務環境改善マネジメントシステム

STEP 5 計画の策定

『計画の策定』～よい計画とは?～

目標を達成するため、「誰が」「いつまでに」「何を」していくのか、具体的な計画(アクションプラン)を作成します。

計画作成に際しては、効果的かつ現実的で、継続できる内容にすることが大切です。

また、計画の案について説明会等でスタッフの意見を聴き、修正等により意見を柔軟に盛り込んでいくことも重要です。そのような活動が、医療スタッフに取組の目的を理解してもらうことにつながります。



マネジメントシステム
導入準備

PLAN 計画

DO 実行
CHECK&ACT
評価・改善

STEP 1 方針表明

STEP 2 体制整備

STEP 3 現状分析

STEP 4 目標設定

STEP 5 計画策定

STEP 6 取組の実施

STEP 7 評価・改善

よい計画のポイント

- 具体的である(誰が、いつまでに、何を…)
- 効果的かつ現実的
- 継続できる
- スタッフの意見を聴いている

※医療分野の「雇用の質」向上のための
勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)
平成27年3月(以下、手引き)より抜粋、編集

最近の活動

「医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー」にて支援センターの取組紹介

平成30年1月15日 13:30～、RCC文化センターにて平成29年度厚生労働省委託事業である標記セミナーが開催され、県内外から医療関係者ら約40名が参加しました。

セミナーでは、医療勤務環境改善に関する最新の動向や愛媛県の中小病院での勤務環境改善事例が紹介されました。広島県医療勤務環境改善支援センター（以下、支援センター）からは、広島県健康福祉局医務課 担当者と医業経営アドバイザーらが参加し、支援センターの取組や支援事例について講演しました。

「(公社)日本医業経営コンサルタント学会 広島大会」にて支援センターの取組発表



平成29年11月16, 17日、ホテルグランピア広島にて、(公社)日本医業経営コンサルタント学会 広島大会が開催されました。そのなかで、支援センターの医業経営アドバイザーより一般演題「医療勤務環境改善マネジメントシステム導入支援、『広島モデル』の模索」として、支援センターの取組が発表されました。

医療機関への訪問

平成28年1月から開始した医療機関等への訪問は、平成29年12月末までに11施設、延べ30回となりました。

支援センターでは、簡便なアンケートによる勤務環境の状況チェックも含め、より負担の少ないマネジメントシステム導入を支援しています。

勤務環境の改善に関する相談がありましたら、下記電話番号までお願いします。

●勤務環境チェックシート(OK様式)

部署:

チェックポイント		○△×
1	有給休暇を希望どおりにとることができる。	
2	くつろげる休憩場所があり、適切に休憩をとることができる。	
3	保育や介護のことで困っていない。	
4	残業、夜勤、当直等で疲弊していない。(手当も含めて)	
5	日々、ぐっすり睡眠をとれている。	
6	身体も心も、健康的な環境で仕事ができている。	
7	職場で質のよい食事(栄養、安全、手ごろな価格..)をとることができる。	
8	健康診断を定期的に受けている。	
9	暴力・暴言、クレーム対策がしっかりしていると思う。	
10	パワハラ、セクハラ、いじめ等で困ったり、不快なことはない。	
11	補助職(医療ケア、看護補助、パート、アルバイト等)が効果的に導入されていると思う。	
12	仕事量がちょうどよい。(忙しすぎない、ひま過ぎない)	
13	職場安全(医療安全など)の対策がしっかりしており、安心できる。	
14	普段、職場でコミュニケーションが上手くとれていると思う。	
15	5S(整理、整頓、掃除、清潔、しきけ)の風土がある。	
16	どちらかというと、いつも笑顔である。	
17	顧客(患者さん、職場スタッフなど)に喜ばれることが多い。	
18	昇格・昇給・給与・手当など、人事評価に納得している。	
19	希望する研修や学会に参加することができている。	
20	自身も、職場も、将来は明るいと感じる。	

※使用、転載等の際は、必ずセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ

広島県 医療勤務環境改善支援センター 広島県健康福祉局医務課内
TEL:082-513-3056 受付時間:(平日)10時～12時、13時～16時
(土日祝日、年末年始を除く)